

思いを引き出し、考えを深め、  
選び取る力を育むICT 活用  
～主体的な学びにつながる ICT 機器の利活用を目指して～  
千葉県立桜が丘特別支援学校



### 研究のポイント

- ① 教員の ICT 利活用に対する意識を高め、主体的な学びにつながる ICT 機器の利活用を目指す。
- ② ICT を意識した授業実践の中で児童生徒が自ら選択したり、操作したりしながら学習に関わる場面を増やし、主体的な学びができるようにする。
- ③ ICT 実践共有シートを用いた記録を行い、蓄積し共有する。

### ■学校の概要 <https://cms1.chiba-c.ed.jp/chibapref-sakuragaoka-sh/>

千葉市若葉区に位置する肢体不自由特別支援学校で、医療的ケアを必要とする児童生徒も在籍している。小学部・中学部・高等部を設置するとともに、訪問教育や通級による指導、寄宿舍での生活支援も行っている。

学校教育目標として「自分らしい人生を歩んでいくための力を育成する～思い・考え、選択し、主体的に取り組む活動の充実～」を掲げ、準ずる教育課程や知的障害特別支援学校の各教科等の内容を取り入れた課程、自立活動を主とした課程を実施している。

本校はユネスコスクールに加盟しており、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点として、各学部で様々な活動に取り組んでいる。

### ■研究課題

児童生徒の「思いを引き出す」「考えを深める」「選び取る」といった学びの過程を支える手段として ICT 機器を効果的に利活用することや、障害による学習上又は生活上の困難さの改善・克服するためのよりよい ICT 利活用について検討する。

### ■研究の目的と方法

#### 【研究の目的】

肢体不自由のある児童生徒に対して、個別のニーズに応じた ICT 機器や教材の作成及び活用をすることで、主体的な学びを促す授業づくりを目指すことを目的とする。

そのために、ICT を利活用することで、児童生徒が自分の「思いを表現」する機会を広げること、「考えを深め」ながら活動に取り組むことを支援すること、複数の選択肢から自分で「選び取る」経験を積むことを重視し、「自分らしさ」を表現できる学びの実現を図る。併せて、教員の ICT 利活用に対する意識やスキルの向上、教材・実践の共有を通して、学校全体としての教育の質の向上を目指す。

### 【研究の方法】

1. 教員が小集団（授業プロジェクトグループ）に分かれ、ICTの視点を取り入れた授業実践について、課題となるテーマを基に検討を行う。
2. 外部講師による研修および情報分掌による研修を実施する。
3. 各教員がICTの利活用を意識した授業実践を行う。
4. ICT実践共有シートに、児童生徒の変容や教材の工夫、気づきを記録し、ICT教材とともに校内の共有サーバーに蓄積する。
5. 研究初期と後期に、教員を対象としたICT利活用に関する調査を実施し、意識やスキルの変容を比較・分析する。

## ■研究概要

### 【研究の実践と成果】

#### ① 教員のICT利活用における授業観・指導観の変容

教員を対象としたICT利活用に関する調査の結果から、ICTを「特別なもの」ではなく、児童生徒の学びを支える手段としてとらえる教員が増えたことが分かった。小集団での検討や研修を行い、教員一人一人が実践を重ねる中でICTの利活用の心理的なハードルが下がり、前向きに活用しようとする意識の変化が見られた。研究を通して、主体的な学びにつながるICT機器の利活用を進めることが教員の授業観・指導観を見直す契機となった。

#### ② 児童生徒の主体的な学びにつながるICTの利活用

ICTの利活用を意識した授業実践の中で、児童生徒が自ら選択したり、操作したりしながら学習を行う場面が増え、主体的に活動しようとする姿が見られたことが報告された。児童生徒にとって、ICTの利活用が「できることを広げる」「思いを表現する手段を増やす」役割を果たし、ICT利活用が重要であることが分かった。一方で、授業のねらいや実態を踏まえ「ICTを使うこと自体」が目的化しないようにする必要があることや、授業のねらいや児童生徒の実態を起点に活用の是非を判断し改めて校内全体で共通理解する必要があることが分かった。

#### ③ ICT実践共有シート、教材の蓄積・共有

ICT実践共有シートによる記録は児童生徒の変容や教員の気づきを可視化することに成果が見られた。また、102事例の授業実践及び教材（授業コンテンツ）のとりまとめをすることができた。手軽に活用できるように独自の検索システムを開発した。

### 【研究の課題と今後について】

個人による記録では形式的になりやすいという課題も明らかになった。今後は、ICT実践共有シート及び教材（授業コンテンツ）の活用方法について学校全体で周知し、共有することや、電子黒板やデジリハ、視線入力装置などのICT機器の環境整備を進め、それらの実践を深めていく必要がある。

## 関連資料

第3次千葉県特別支援教育推進基本計画

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/tokubetsushien/dai3ji-suishinkihonkeikaku.html>

千葉県学校教育情報化推進計画

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>